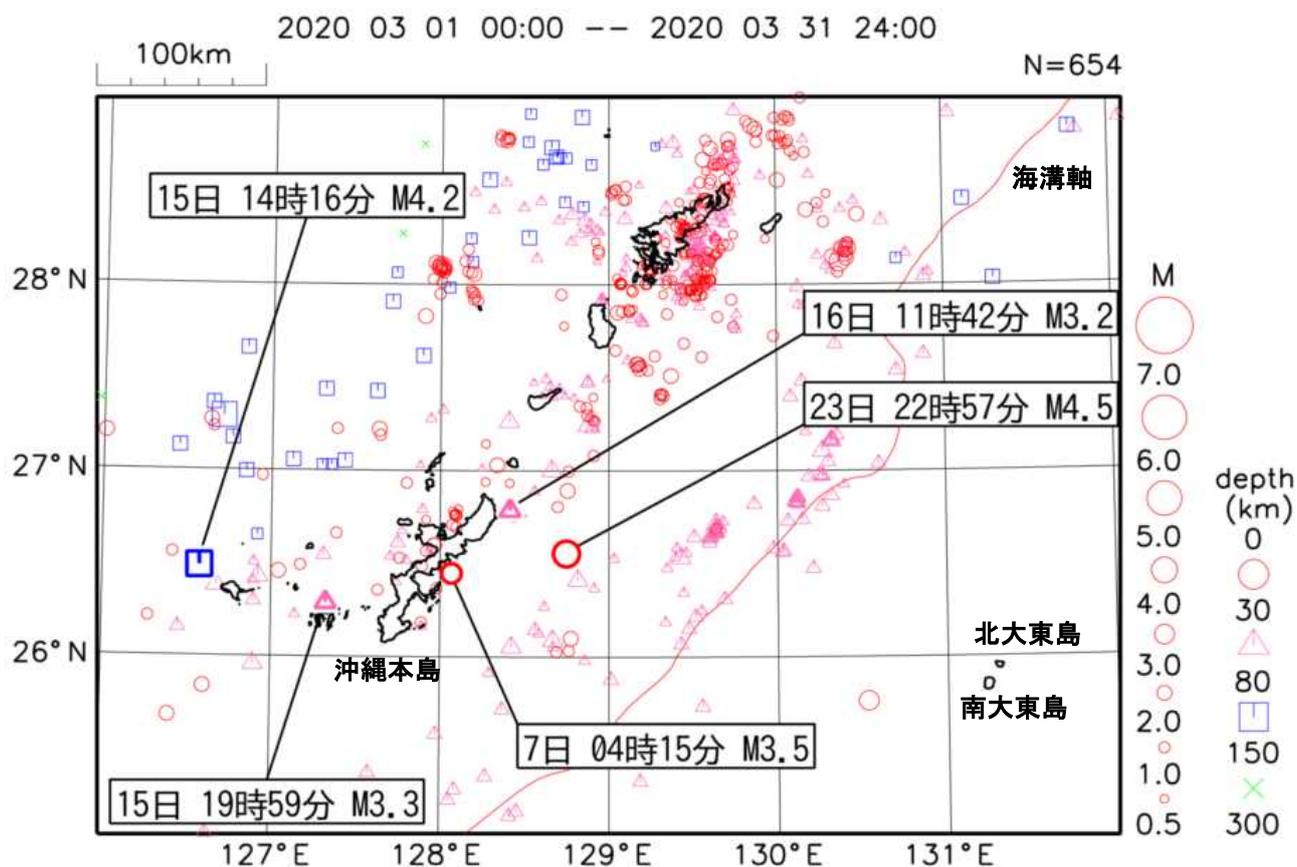


# 地震活動図

2020年3月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

### [ 概 況 ]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺（図の範囲内）で観測した地震は654回（2月610回）で、このうちM4.0以上の地震は3回（2月4回）でした。

また、震度1以上を観測した地震は、大東島地方ではなく（2月0回）、沖縄本島地方で5回（2月0回）でした。

#### ※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

#### ※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

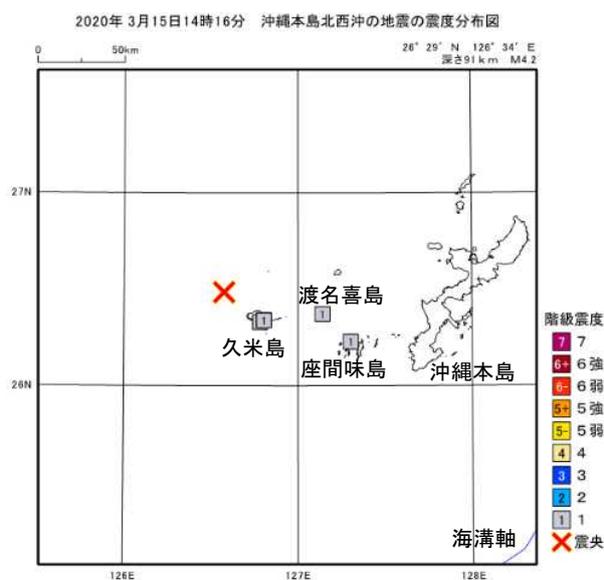
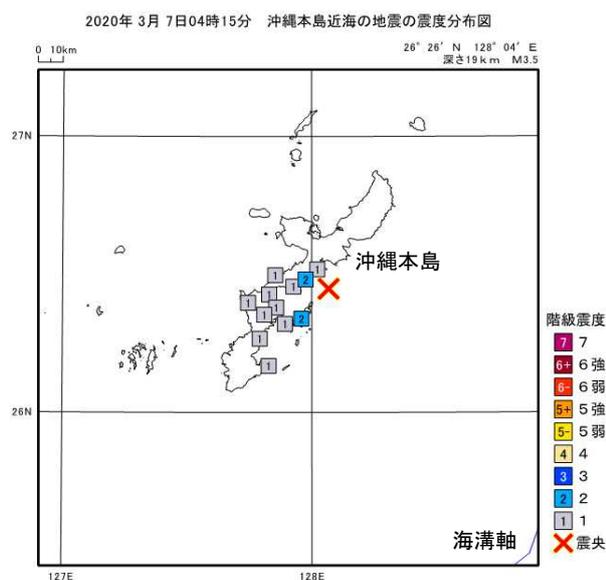
#### ※ データについては精査により、後日修正することがあります。

## 大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2020年3月1日～31日）

震源時 各地の震度（沖縄県内のみ記載）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2020年03月07日04時15分 沖縄県 震度 2：宜野座村宜野座＊，うるま市与那城平安座＊ 震度 1：名護市豊原，恩納村恩納＊，金武町金武＊，沖縄市美里＊，読谷村座喜味 中城村当間＊，うるま市みどり町＊，うるま市石川石崎＊，うるま市勝連平安名＊ 南城市知念久手堅＊	沖縄本島近海	26° 26.8' N	128° 04.0' E	19km	M3.5
2020年03月15日14時16分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味＊，渡名喜村渡名喜＊，久米島町山城，久米島町謝名堂 久米島町比嘉＊	沖縄本島北西沖	26° 29.1' N	126° 34.5' E	91km	M4.2
2020年03月15日19時59分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味＊	沖縄本島近海	26° 17.3' N	127° 19.4' E	45km	M3.3
2020年03月16日11時42分 沖縄県 震度 1：国頭村奥，国頭村辺土名＊	沖縄本島近海	26° 47.2' N	128° 24.8' E	31km	M3.2
2020年03月23日22時57分 沖縄県 震度 2：国頭村辺土名＊ 震度 1：名護市港＊，国頭村奥	沖縄本島近海	26° 33.3' N	128° 44.9' E	25km	M4.5

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

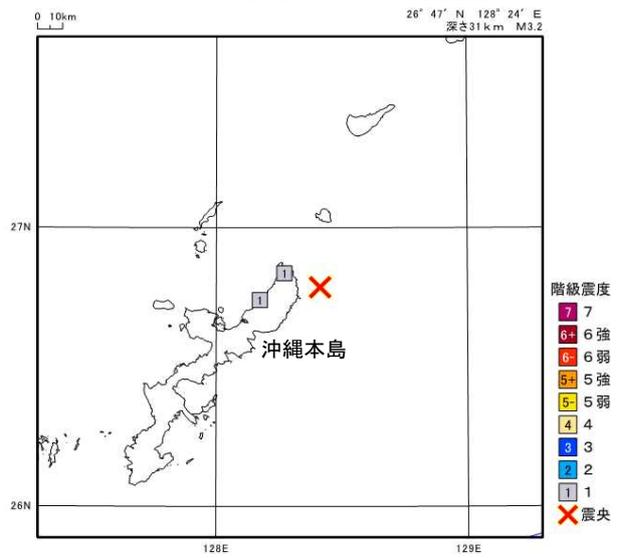
## 大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



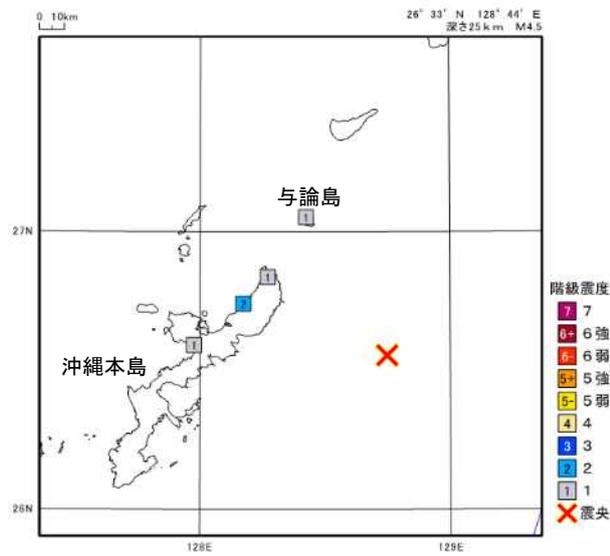
2020年3月15日19時59分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



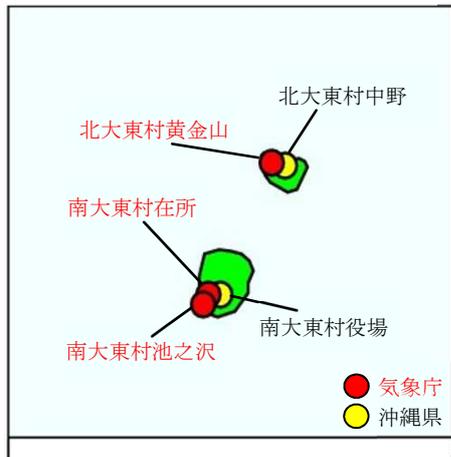
2020年3月16日11時42分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2020年3月23日22時57分 沖縄本島近海の地震の震度分布図

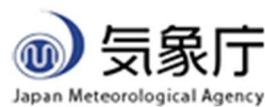


大東島地方の震度観測点



131°

131.5°



Japan Meteorological Agency

本件に関するお問い合わせ先

(南大東島地方気象台)

電話 09802-2-2006

<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

## 津波フラッグによる津波警報等の視覚的伝達 ～海水浴場等における「旗」を用いた津波警報等の伝達～

気象庁は、海域で発生した地震に伴い津波の来襲が予想される場合、地震発生後約3分を目標に大津波警報、津波警報、津波注意報（以下「津波警報等」という。）を発表します。

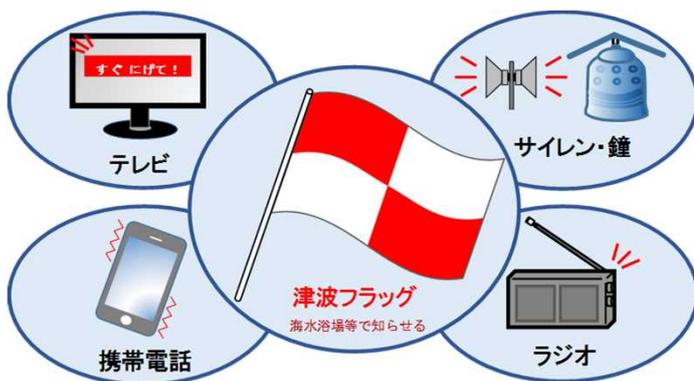
津波警報等は、防災行政無線に加えてテレビ・ラジオや緊急速報メールなど多様な手段により伝達されてきました。

一方、海水浴場等では遊泳者等への伝達手段が限られるとともに、波音や風などの影響でサイレンなどの音響や音声による伝達が困難な場合もあり、直ちに避難すべき人に津波警報等が伝わらないおそれがあります。特に聴覚障害者等への伝達手段に課題があることが専門家により指摘されました。

気象庁では、海水浴場等において聴覚障害者等の方に津波警報等をより確実に伝達することができるよう、「旗」を用いた津波警報等を伝達することとし、「海における危険からの緊急避難」を呼びかける信号旗として国際的にも認知され、視認性が高いこと等から、写真の「津波フラッグ」（赤と白の格子模様（国際信号旗である「U旗」〈読み方：ユーキ〉）を用いることにしました。



「（公財）日本ライフセービング協会提供」



今回、新たに津波警報等を伝える手段として「津波フラッグ」が加わります。

沖縄県は、海に囲まれ多くの海水浴場等があります。海水浴場等で「津波フラッグ」を見かけた場合は、ただちに海から上がって海岸から離れ、高台や避難ビルなど安全な場所に避難し、身を守る行動をとりましょう。

「旗」を用いた津波警報等の伝達は、6月中を目途に「津波フラッグ」を用いることとなります。

「津波フラッグを見たら海から離れ、ただちに避難！」



過去の防災一口メモは沖縄气象台ホームページで確認

沖縄气象台ホームページURL <https://www.jma-net.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>